

大正十四年(千九百二十五年)に 於ける世界の蠶況

農務局繭絲課調査

世界の蠶況に關し在外公館の報告、蠶糸業團體の公表せる統計及外國雜誌新聞等に掲載せられたる記事に依り大要を輯録すれば左の如し。

第一 概 況

歐羅巴に於ける主要養蠶國は前年に於て衰頹挽回の趨勢を示したるも本年は稍不振の徴を現はし掃立蠶卵量を見るに佛蘭西は七萬七千七百四「オンス」(我が粹製約二十萬七千四百七十枚)にして前年の八萬四百五十六「オンス」に比し三分四厘を減少し伊太利は前年の三十萬「ヘクトグラム」(我が粹製約三百二十萬枚)より稍減少したるものゝ如く、西班牙は前年と略同様なり。

而して前記各國を通じて養蠶の成績は概ね良好ならず、即ち收繭額概數は佛蘭西に在りては三百三十八萬四千二百七十一基(九十萬二千四百四十九貫)にして前年の四百十八萬四百六十六基に比し七十九萬六千九百九十五基、即ち一割九分の減收を示し、伊太利に於ては四千七十萬基(一千八十五萬三千三百四十六貫)にして前年の四千九百四十萬基に比し八百七十萬基、即ち一割七分の減收を示し、西班牙に於ては收繭額概數百十四萬五千基(三十萬五千三百三十三貫)にして作柄良好なるものゝ如し。

繭質は一般に良好ならざりしも繭價は各國を通じて高値なりき。

塊地利、匈牙利、近東及中央亞細亞の諸國に於ける蠶況は其の真相を知り難しき雖も「シリア」地方に於て一、二割の減收を見たる以外は一般に前年と大差なきか如し。

支那に於ては江蘇省は蠶種掃立量前年に比し増加し、天候順調にして收繭額も二割位増加せるものゝ如く、浙江省に於ては蠶種掃立量前年に比し約二割を

減少したるものゝ如く收繭額も亦 平年の約六割内外に推せらる、廣東省は第六回及第七回作の蠶況不明なるも 第五回作迄の收繭額は前年に比し一分餘の減少を示し 本年の輸出器械生糸の産額は前年と大差なきものゝ如し。

之を要するに大正十四年(千九百二十五年)に於ける世界の蠶況は前年に比し蠶種掃立量及收繭額を減少せるものと推測せらる。

第二 各 國 状 況

(一) 佛 蘭 西

星昂蠶糸商組合の報告に據れば 本年の養蠶戸数は六萬九千五百四十八戸にして前年の七萬五千六百六十八戸に比し七分四厘の減少を示し 掃立蠶卵量は七萬七千七百四「オンス」(我が榨製約二十萬七千四百七十枚)にして前年の八萬四百五十六「オンス」に比すれば二千七百五十二「オンス」即ち三分四厘の減少に當れり

四月乃至五月中旬の天候寒冷なりしか爲 稚蠶期に於て蠶兒及桑葉の發育稍遅延せるも、五月下旬以來暖氣俄に加はりたる爲 桑葉は著しく伸長せり。而して六月上旬より天候再び不順に陥りしも 蠶兒の経過は順調に進み 大多數の養蠶は六月下旬を以て無事終了せり、星昂蠶糸商組合の發表したる 本年の收繭額概数は三百三十八萬四千二百七十一基(九十萬二千四百四十九貫)にして前年の四百六十六基に比し七十九萬六千九百九十五基 即ち一割九分の減收なり。自大正十年至大正十四年五箇年間の佛蘭西産繭額を縣別に表示すれば左の如し。

縣 名	大正14年 (1925年)	大正13年 (1924年)	大正12年 (1923年)	大正11年 (1922年)	大正10年 (1921年)
ガ - ル	987.150	1.179.488	999.219	824.555	784.975
アルデーシュ	863.273	1.083.413	933.724	776.006	732.270
ドローム	623.257	832.483	544.555	386.143	344.231
ヴォークリエーズ	286.789	372.022	260.639	160.149	192.295
ヴァール	215.617	239.790	250.591	163.933	201.354
イゼール	90.580	105.609	53.557	34.202	31.038
プーシユデユロー ス	42.222	60.989	48.969	23.232	38.665

バツス。アルプス	95.753	106.231	92.803	64.407	66.039
其ノ他	179.280	200.441	145.490	139.194	133.282
計	3.384.271	4.180.466	3.329.547	2.571.821	2.524.149

新繭出廻は早場地方に於て六月上旬に始まり 晩場地方に於ても七月上旬には大體の取引を終了せり。

繭出廻最盛期は六月中旬乃至下旬にして 七月上旬繭價協定委員會に依り決定したる新繭一基の價格は「ウォークリユーズ」縣、「ブーシユデュロース縣、「アルプマルチーム」縣、「ブリヅア」及「ラルジャンチエール」の郡部に於ては二十法（一法を十一錢六厘として換算すれば我が一貫匁に付八圓七十一錢以下倣之）「ドローム」縣、「イゼール」及北部地方は一基十九法八十「サンチーム」（我が一貫匁に付八圓六十一錢）なり、但し右の價格は 製糸業者より蠶種の無償配付を受けたる場合のものにして 蠶種を購入したる 養蠶者の産繭は一基に付 四十「サンチーム」高に取引せらるゝものなり、又「ガール」縣、「ロゼール」縣、「ヴァール」縣及 西南地方に於ける繭價は一基に付二十法（我が一貫匁に付八圓七十一錢）にして蠶種を購入せる養蠶者には繭一基に付五十「サンチーム」及 運搬費二十五「サンチーム」を別に仕拂はる。

繭質は前年に比し一般に良好なりと云ふを得ず。

(二) 伊 太 利

伊太利に於ける本年の掃立蠶卵量は諸種の報告を綜合するに前年の三十萬「ヘクトグラム」（我が粹製約三百二十萬枚）に比し稍減少したるものゝ如し、尙蠶兒の發育經過は順調なりしも 天候不順の爲桑葉の成長遲緩にして「ロンバルディア」「フリユリー」及「ピエモンテ」の北部に於ては桑不足を懸念し蠶兒を投棄したる者あり。且つ飼育末期に於ける氣温の激變に因り 作柄は一般に不良なり。政府の統計に據れば本年の收繭額概數は 四千七十萬基（千八百十五萬三千三百四十六貫）にして 前年の四千九百四十萬基（千三百十七萬三千三百四十九貫）に比し 八百七十萬基 即ち一割八分の減收を示し、繭質も亦良好ならず、新繭出廻は「カラブリア」沿岸及「アレキサンドリア」の早場地方に於ては六

月上旬、中部及北部地方に於ては六月中旬に始まり、新繭相場は一基に付「カラブリア」沿岸にては二十一乃至二十二理(我が一貫匁に付七圓四十八錢乃至七圓八十四錢以下倣之)、「シチリア」に於ては諸費用を除き 三十一乃至三十二理(我が一貫匁に付金十一圓四錢乃至十一圓四十錢)を示せり。

尙六月下旬に於ける主なる市場の繭相場を示せば「アレキサンドリア」二十七理(我が一貫匁に付九圓六十二錢)、「マントヴァ」二十九理(我が一貫匁に付十圓三十二錢)、「オジモ」三十理(我が一貫匁に付十圓六十九錢)、「ピネローロ」及「ウデイネ」三十四理(我が一貫匁に付十二圓十五錢)なり。

最近三ヶ年間の繭産額及本年の桑葉收穫量を州別に表示すれば左の如し。

(伊太利國民經濟省調査に據る)

州名	繭 産 額			桑葉收穫量
	大正14年 (1925年)	大正13年 (1924年)	大正12年 (1923年)	大正14年 (1925年)
ピエモンテ	6,480,000	7,600,000	7,610,000	295,800,000
リグリア	100,000	100,000	90,000	1,800,000
ロンバルディア	10,680,000	15,020,000	14,340,000	491,300,000
ヴェネト	12,570,000	14,330,000	10,350,000	385,600,000
エミリア	3,310,000	3,500,000	2,880,000	106,400,000
トスカーナ	1,730,000	1,930,000	1,810,000	40,100,000
マルケ	2,020,000	2,100,000	1,840,000	44,600,000
ウンブリア	200,000	140,000	140,000	3,500,000
ラチオ	90,000	80,000	50,000	1,700,000
アブルツチ・エモリーゼ	210,000	210,000	180,000	4,600,000
カンパニア	170,000	170,000	140,000	7,800,000
カラブリア	1,740,000	2,000,000	1,370,000	63,400,000
シチリア	120,000	130,000	110,000	12,000,000
ヴェネチヤ トリデンライナ	1,200,000	1,600,000	1,300,000	20,000,000
ヴェネチアジュリア	80,000	480,000	370,000	2,700,000
合計	40,700,000	49,400,000	42,580,000	1,482,300,000

(三) 西 班 牙

掃立蠶卵量は「ヴァランス」及「ミュルシー」州共に前年と略同様に、天候寒冷の爲桑葉の成長遅れたるも蠶兒の發育は順調にして作柄は良好なり。

主要蠶業地方の繭産額概数を示せば左の如し。

ミュルシイ	958,000基
ヴァランス	150,000
スヰキラ及グレナード	12,000
アルバセート	25,000
アラゴン	5,000
計	1,145,000

而して新繭は「ミュルシー」地方に於ては五月中旬より出廻り始め、其の相場は仲次口錢を含み一基に付五「ペセタ」半（「ペセタ」を三十八錢とて換算すれば我一貫匁に付七圓八十四錢）なり。

(四) 境 地 利

調査資料を缺く。

(五) 近東、小亞細亞及其他

(イ) シ リ ア

「シリア」に於ける本年の蠶況は 稚蠶期の経過概して良好なりしも、第五齡期に至り俄かに蠶病發生し平地に於ては前年よりも著しき減收にして收繭額は一割五分乃至二割の減少を稱せらる。

新繭は五月下旬出廻り始め 相場は一基十七法（一法を十二錢三厘とて換算すれば我が一貫匁に付七圓八十四錢）なり。

(ロ) サ イ プ ラ ス

調査資料を缺く。

(ハ) ア ナ ト リ ア

「ブルース」地方に於て本年養蠶者に配付せられたる蠶種は 三万箱にして前年と略々同様なり。蠶兒は前年よりも稍遅れ四月下旬に發生したるが 天候順調にして蠶兒の發育経過良好なり、新繭は六月上旬出廻り始め 一基十三乃至十五法

(一法を十一錢九厘として換算すれば 我が一貫匁に付五圓八十錢乃至六圓六十九錢)を以て取引せられたり。

(ニ) 羅馬尼亞

調査資料を缺く。

(ホ) 勃 牙 利

本年の掃立蠶卵量は前年の三万「オンス」乃至三万五千「オンス」よりも増加し蠶兒の發育経過は順調にして「ヴラザア」蠶業試験場の報告に據れば新繭は六月中旬より出廻り始め、協定價格を定めず受渡せられ作柄は平年作なり。

(ヘ) 希 臘

「マセドニア」及「カルシディク」地方に於ける本年の作柄は豊作にして「マセドニア」地方の産繭額は約八十万「オーク」(約二十七萬七百二十貫)と豫想せられ繭の品質も亦一般に良好なり。

(六) 支 那

(イ) 江 蘇 省

無錫は本年兵燹に遭ひたるに係らず養蠶は依然熾に行はれ 蠶兒の掃立數量は前年に比し約二割の増加を見たり、然るに桑葉不足の爲 四眠以後桑葉の需要増加するに伴ひ百斤一元七十仙乃至 二元五十仙(一元を一圓三十四錢として換算すれば我が一貫匁に付十五錢乃至二十一錢以下倣之)なりし桑葉は 遂に四元乃至六元(我が一貫匁に付三十四錢乃至五十錢)の高値を呼び蠶兒の餓死するもの續出し、全然之を抛棄したる者尠ながらざるを以て 幾分の減收を免れざるべく一般に七分作を豫想せらる。

無錫繭業公所は開議の結果 五月三十一日開秤、生繭百斤に付四十五乃至五十元(我が一貫匁に付三圓七十七錢乃至四圓十九錢)の相場を公定し、同地に於ける二百二十餘の繭行(購繭場)中約八割は繭買入を開始せるも實際の取引相場は百斤に付四十八元より五十五元(我が四貫匁に付四圓一錢乃至四圓六十錢)の間在りたり。

宜興、溧陽及金壇地方は養蠶期の天候 頗る順調にして桑葉豐澤なりし爲作柄は八分作、品質は解舒、糸量共優良にして生糸百斤を得るに要する 乾繭の量は

五百二十斤見當なり。

宜興は五月二十九日、金壇及溧陽は五月二十八日開市し其の買剛相場は前者は五十五元（我が一貫匁に付四圓六十錢）、後二者は六十元（我が一貫匁に付五圓）なり。

蘇州地方は往年に比し一般に養蠶熱熾にして蠶兒の掃立數量増加し、桑葉は當初枝桑百斤に付一元七十仙より二元の間（我が一貫匁に付十五錢乃至十七錢）に在りしか、三眠期に至り一躍四、五元（我が一貫匁に付三十四錢乃至四十二錢）に昂騰せり、天候は掃立以來適順なりし爲蠶兒の發育經過迅速にして收繭量は八分作を下らざる見込なり。

蘇州の生繭取引は五月二十七日に開始せられ六月七日に大體終了せり。繭の品質は農民の飼育法不完全なるを桑葉不足を告げたる爲餘り良好ならず、生糸百斤を得るに要する乾繭の量、五百五十斤乃至六百斤の見當なり。

繭の公定相場は百斤に付五十元（我が一貫匁に付四圓十九錢）を定められたるも實際取引相場は一時普通物六十元（我が一貫匁に付五圓）上物七十元（我が一貫匁に付五圓八十六錢）の高値を唱へられたり。

省内主要産繭地に於ける繭行の開秤月日、繭相場及生糸百斤を得るに要する乾繭量を表示すれば左の如し。

地方名	繭行開秤月日	繭 相 場 (百斤=付)			生絲百斤ヲ得ルニ要スル乾繭量
		最 低	最 高	平 均	
無錫	5月31日	50元	70元	58元	600斤
江陰	6 1	50	65	57	590
常州	5. 30	55	75	60	600
蘇州洞庭山	5 27	50	70	56	560
宜興・溧陽・金壇	5 28	50	60	54	630

(ロ) 浙 江 省

浙江省に於ては前年來の糸價不振に伴ひ本年の蠶種掃立數量は前年に比し約二割方減少したる模様なりしが更に四眠期以後の陰雨及其間起りし大雷雨は養

蠶に非常なる悪影響を與へ 爲に本年の收繭量は各地を通じ平年の約六割位を豫想せらる。

生繭取引は五月十日前後より開始せられたるが 其の相場は高値百斤に付七十元、安値四十六元、平均五十七元位 (我が一貫匁に付 高値五圓八十六錢、安値三圓八十五錢、平均四圓七十七錢) にして 前年に比し約五分の安値なり。

杭州地方は掃立後の天候順調にて三眠迄は非常に良好なる發育を見たるも 四眠期以後霖雨に加ふふるに大雷鳴あり 之れが爲に夥しき病蠶を生じ收繭量は平年の約七割位に減じたり。之に反し桑葉は發育頗る良好にして 掃立當時は百斤に付二元乃至三元 (我が一貫匁に付十七錢乃至二十五錢) を稱へ居たるも次第に低落して一元二、三十仙 (我が一貫匁に付十錢乃至十一錢) に至れり。

生繭の取引は五月二十日頃に開始せられ 二十九日頃終了せり、相場は平均五十九元 (我が一貫匁に付四圓九十四錢) 位なり。

嘉興海甯地方は稚蠶期中陰雨連續し飼養上困難尠なからざりしが壯蠶期に至り更に雷雨の爲悪影響を蒙り收繭は甚だしき不成績を示し例年の約四割内外に過ぎず。

生繭の取引は五月二十六日頃より開始せられたるが 買馴相場は嘉興地方に在りては約五十二元 (我が一貫匁に付四圓三十六錢) 海甯地方に在りては幾分高値にして約六十二元 (我が一貫匁に付五圓十九錢) にして出廻數量は僅少なりき。

紹興地方舊紹興府下に於ては稚蠶期中の天候順調なりしも 四眠期中寒冷に災せられ 收繭良好ならず生繭の取引は五月二十四日頃より開始せられ其の相場は高値七十二元、安値五十四元、平均六十三元 (我が一貫匁に付高値六圓三錢、安値四圓五十二錢、平均五圓二十八錢) なりき。

省内主要産繭地に於ける繭行の開秤月日、繭相場 及生糸百斤を得るに要する乾繭量を表示すれば左の如し。

地方名	繭行開秤月日	繭 相 場 (一斤=付)			生絲百斤ヲ得ルニ要スル乾繭量
		最 低	最 高	平 均	
紹 興 西 郷	5月18日	55仙	74仙	72	560斤

同	東	鄉	5	21	65	85	80	530
諸		暨	5	20	50	58	55	610
杭		州	5	21	55	64	56	560
嘉		興	5	26	56	70	60	540

(ハ) 湖 北 省

湖北省は前年に於て稀なる不作に遭遇し 買人は孰れも痛手を蒙り漢口に於ける三製絲工場は悉く操業不能に陥り累を金融業者に及ぼしたる爲 同地金融業者は購繭資金に對し警戒を拂ふに至れり 之が爲に本年の春蠶期に於て繭買人の氣勢は頓さ揚らず 従つて繭價は低廉にして上海着乾繭百斤の價格は百四十兩見當(我が一貫匁に付一兩を一圓八十五錢として換算すれば十六圓十九錢)を稱へ本春に於ける最安値の場所となれり。

而して繭質は前年に優るこさ數等 解舒良好にして生糸百斤を得るに要する乾繭量は前年の六百四五十斤に比し本年は五百四五十斤なり。

(ニ) 安 徽 省

本年は前年よりも産繭額増加し 繭價は一斤五十仙(我が一貫匁に付四圓十九錢)に始まり六十仙(我が一貫匁に付五圓)に騰りたるも出廻數量豊富なりし爲遂に五十仙以下に低落せり 如斯繭相場は低廉なりしも糸量も亦少く掛目に於ては他地方と略々同様なりしと云ふ。

(ホ) 廣 東

第一回作は三月中旬以降 四月下旬迄霖雨冷濕の爲蠶兒の掃立遅延せしのみならず掃立數量減じ蠶作は不良にして 輸出器械糸四千五百俵(一俵は八十斤以下倣之)と豫想せられ前年の五千五百俵に比し一千俵の減收なり。

繭の品質も亦前年に比し不良にして 生糸一俵の仕上り値段は新式糸千二百元(一元を一圓三十四錢として換算すれば百斤に付二千十圓以下倣之)、舊式糸千百七十元(百斤に付千九百六十圓)に當れり。

第二回作は稚蠶期天候濕潤なりし爲 桑葉の伸長佳良なりしのみならず其の後の天候順調なりしを以て 蠶兒の發育經過良好にして豐作を豫想せられし繭の

品質は上簇期の雨天續きに依り良好ならず 輸出器械系の産額は前年に比し一千俵を減じ一萬一千俵を推算せられ 生糸一俵の仕上り値段は新式糸十五中千二百元(一元を一圓三十三錢として換算すれば百斤に付千九百九十五圓以下微之)舊式糸十四中千七百七十元(百斤に付千九百四十五圓)に當れり。

第三回作は輸出器械系七千俵にして前年に比し約二千俵の減收を示し 第四回作は六千俵にして前年と同額なるも 第五回作は八千俵にして前年に比し二割五分の增收なり。

第六回及第七回作の蠶況に關しては報告を缺き不明なるも 第五回作迄の收繭額は前年に比し一分餘の減少を示し 本年の生糸産額は前年と大差なきものゝ如し。

今各養蠶期に於ける累年の輸出器械生糸産額概數を表示すれば左の如し。

	1925年	1924年	比較増減	1923年	1922年
第 1 回 作	4.500 ^俵	5.500 ^俵	減 1.000 ^俵	8.000 ^俵	7.000
〃 2 回 作	11.000	12.000	〃 1.000	9.000	6.000
〃 3 回 作	7.000	9.000	〃 2.000	12.000	11.000
〃 4 回 作	6.000	6.000	増減ナシ	9.000	8.000
〃 5 回 作	8.000	4.500	増 3.500	3.000	8.000
〃 6 回 作	不 詳	8.000		5.000	7.000
〃 7 回 作	〃	4.500		2.000	4.000
合 計	(第 5 回 作 迄 ノ 小 計 36.500)	49.500 (37.000)	(減 500)	48.000	51.000